



# 後の雨に備えよ

PREPARE FOR THE  
LATER RAIN

# 後の雨に備えよ

エレン・G・ホワイトの著書からの編集

編集者：B・E ワグナー

# 目次

略語表.....	4
第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ .....	5
ラオデキヤ教会の大きな必要 .....	5
重大な危機がわれわれを待っている .....	7
ラオデキヤ教会への使命 .....	10
サタンの欺瞞.....	13
神の民の覚醒.....	17
第2章 先の雨が今必要 .....	21
聖霊の改変力.....	22
不可欠の先の雨 .....	26
後の雨の準備をするのは今である .....	29
第3章 キリストの心.....	32
キリストは毎日聖霊のバプテスマを受けられた.....	37
神の愛 .....	40
第4章 エノクと、バプテスマのヨハネ.....	44
神を知ること.....	44
エノク .....	46

バプテスマのヨハネ .....	50
聖霊があふれるばかりに与えられた .....	51
第 5 章 後の雨 .....	55
獣のしるし .....	56
大いなる試練 .....	59
後の雨と大いなる叫び .....	61
恩恵期間の終了 .....	66
第 6 章 将来の危機 .....	70
サタンのわな .....	71
瞑想のための追加引用文 .....	74
無限の可能性 .....	77
見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている .....	78

# 略語表

---

7BC	S.D.A Bible Commentary Vol.7
CH	Counsels on Health
CM	Colporteur Ministry
CT	Counsels to parents, teachers, and students
FLB	The Faith I Live By
GW	Gospel Workers
OHC	Our High Calling
RH	Review and Herald
SL	Sanctified Life
1SM	Selected Messages Book1
2SM	Selected Messages Book2
TM	Testimonies to Ministers
TMK	That I May know Him
1T	Testimonies for the Church, Vol.1 (教会への証として訳されているもの)
人あ上下	人類のあけぼの上下巻
国上	国と指導者上巻
希上中下	各時代の希望上中下巻
患上	患難から栄光へ上巻
大上下	各時代の争闘上下巻
キ道	キリストへの道
キ実	キリストの実物教訓
祝山	祝福の山
初文	初代文集
ミニ	ミニストリー・オブ・ヒーリング

# 第1章 残りの民に対するキリストの メッセージ



## ラオデキヤ教会の大きな必要

キリストとサタンとの間の大争闘は、その終結に近づいています。サタンは人類歴史のドラマの最後の場面のために、彼の軍勢を動員しています。

黙示録 12:12 に次のように記されています。

「しかし、地と海よ、おまえたちはわざわざいである。悪魔が、自分の時が短いを知り、激しい怒りをもって、おまえたちの

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

ところに下ってきたからである。」

1 ペテロ 5:8 「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししののように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。」

主の使者は、残りの教会の民に対して、同様の警告を発しています。

8T 298 「危険な時代がわれわれの前にある。真理の知識を持っているものはみな、目をさまし、体も心も魂も神の訓練に従わせなければならない。敵がわれわれのあとをつけている。われわれは、しっかり目をさまし、敵に対する防備を固めなければならない。われわれは、神のすべての武具を着なければならない。われわれは、預言の霊によって与えられた指示に従わなければならない。われわれはこの時代のために与えられた真理を愛してそれに従わなければならない。われわれが強力な欺瞞を受け入れることがないようにしてくれるのは、これである。……神は、教会へのあかしによって、われわれに語り、また他の書籍によって、われわれの義務とわれわれのとるべき態度とを明らかにされた。規則に規則、教訓に教訓というふうにして与えられた警告に、われわれは従わなければならない。もしわれわれがそれらを見捨てるならば、何と云って申しわけをすることができようか。」

5T 67 「わたしは、主がわたしに示された事を、あなたに示している。……これは神が幻の中でわたしに示されたもので、御座から輝く尊い光である。」

### 重大な危機がわれわれを待っている

世界歴史のこの暗黒な時にあって、神のみ座から輝くすべての光がどうしても必要です。5T 711 に「重大な危険が神の民を待っている」と書いてあります。

希下 105 「危機は徐々にわれわれに忍びよっている。……サタンは自分の時が短いことを知っている。サタンは人々が欺かれ、惑わされ、心を占領され、夢中になって、ついには恩恵の日が終わり、恵みの戸が永遠に閉ざされるように、すべての手下を働かせてきた。」

8T 315 「猛烈なあらしが容赦なくやって来る。われわれは、それに当面する用意があるだろうか。」

9T 17 「恐るべき試練と苦難が神の民を待っている。」

8T 37 「すべての説教は、やがて世界に下ろうとしている、恐ろしい審判ということ意識してなされるべきである。……どうか神が人々を目ざめさせて、永遠の世界の門口に立ってい

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

る男女として生活し、活動するように助けてくださることを祈る。」

ホワイト夫人は、半世紀以上も前（1909年）に次のように書かれました。

**9T 29** 「もし、キリストのすべての兵卒が、各自の義務を果たしていたならば、世界はもっと以前に警告の言葉を聞いたことであろう。しかし働きは幾年も遅れている。」

**6T 450** 「神の民が世界にあわれみの使命を宣べ伝えて、神のみこころを行っていたならば、キリストはもっと前にこの世界に来られて、聖徒たちは神の都に迎え入れられていたことであろう。」（1900年）

「それでは、まだ、日曜休業令が発布されていないではありませんか」と言う人があるなら、次の言葉に注意していただきたいと思います。

**大上 42** 「初代教会の信仰と力が復興するならば、迫害の精神もまた復興し、迫害の火は再び点じられるのである。」

イエスの再臨がこのように遅れているのですから、この際、このように遅れた真の原因がなんであるかを祈りと共に真剣に考え、主の再臨を早める準備をすべきではないでしょうか。

9T 46 「もし人間が聖書や天使たちと協力するならば、数多くの魂が真理に導かれる。しかし主を信じると公言している人々は、彼らに与えられた仕事場で、眠っていた。」

TMK 330 「聖霊は働きをするのに用いることができる通路を待っておられる……神の霊はそれを受ける用意が器にでき次第、教会に注がれるのである。」

初文222-224 「わたしは、残りの民が、この地上に起ころうとしていることのために、準備をしていないのを見た。最後の使命を持っているという信仰を公言する人々の大部分は、昏睡状態のような無感覚に陥っている。……残りの民のために、大いなる働きがなされなければならない。……『悪天使の軍勢が、あなたがたの回りにいて、あなたがたをわなにかけて捕えるため、……あなたがたは、準備の働きと、この最後の時代のために何よりも重要な真理から簡単に心をそらせてしまおう』……『安息日を守る人々は、自己に死に、誇りと人の賞賛を求める心に死ななければならない』と天使は言った。」

大下 359 「恩恵期間の終わりに関係のあるできごとと、悩みの時のために備える働きとが、はっきり示されている。」

1T 466 「現代の真理を信じると公言する者の大部分は、この時代のための準備の働きに対する理解がない。」

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

忠実な証人（黙示録 1:5）であられるキリストは、ラオデキヤの教会に次の言葉を送られました。それを心に留めているなら、後の雨のための用意をすることができます。

### ラオデキヤ教会への使命

黙示録 3:14-21 「ラオデキヤにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『アアメンたる者、忠実な、まことの証人、神に造られたものの根源であるかたが、次のように言われる。わたしはあなたのわざを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。このように、熱くもなく、冷たくもなく、なまぬるいので、あなたを口から吐き出そう。あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身のみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない。そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買ひ、また、あなたの裸の恥をさらさないため身に着けるように、白い衣を買ひなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買ひなさい。すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。

勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座につかせよう。それはちょうど、わたしが勝利を得てわたしの父と共にその御座についたのと同様である。』

ラオデキヤへの手紙は、地上歴史の最後の時代における残りの教会の真の靈的状态の描写であり、恩恵期間終了に先立って、残りの民に与えられるキリストの最後の訴えです。

ラオデキヤがなまぬるく、みじめである理由は、自我が心を支配し、キリストが外側におられるからです。

ラオデキヤへの手紙は「驚くべき譴責」(3T 252) ですが、それは愛の手紙でもあれば、愛のメッセージでもあります。それは大いなる愛の神からの愛の訴えです。もし、まことの証人の勧告を受け入れて、心の扉を開き、キリストが彼の代表者である聖霊によってお入りになるなら、全ての罪に打ち勝つ神の力を与えられ、キリストと共に彼の位に座するという大いなる特権にあずかることができます。

希中 136 「キリストがわれわれのうちに住まれるのは、みたまを通してであり、神のみたまが信仰によって心に受け入れられるときに、それは永遠のいのちの始まりである。」

わたしたちの永遠の運命がかかっているこの最も重要な問題について神の使者が書いた次の引用文を、祈りと共に研究し

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

ましよう。

**RH 1894/8/28** 「まことの証人の勧告は、なまぬるい人々が絶望状態であるとは言っていない。彼らの状態を改善する機会はまだある。そしてラオデキヤへの手紙は奨励に満ちている。」

**6T 77** 「最後の教会に対する警告は、キリスト者と称する全ての者にも伝えるべきものである。ラオデキヤへのメッセージは、鋭い両刃の剣のように、すべての教会に伝えなければならない。……われわれは全力を尽くして諸教会に警告しているのであろうか。」

**3T 259** 「このような人々は、まことの証人のラオデキヤへのメッセージを、どのようにするつもりであろうか。ここに欺瞞はあり得ない。このメッセージは、神の僕たちによってなまぬるい教会に伝えられなければならない。それは神の前における神の民の実際の状態に関する彼らの安心感と、誤った欺瞞から、彼らを目ざめさせなければならない。このあかしが受け入れられる時に、行動が開始される。そして自己卑下と罪の告白が行われる。」

**ミニ 437** 「人間にとって最大の危険は自己欺瞞におちいることである。」

4T 87 「ラオデキヤの人々の唯一の希望は、神の前における自分たちの立場をはっきりと認めて、自分たちの病の性質を知ることである。彼らは冷たくも熱くもない。彼らは中立の立場をとっている。それでいながら彼らは何も欠けた所がないと知っている。」

1T 263 「わたしは神の残りの民を目ざめさせるために、何を言えば良いだろうか。われわれの前途に恐ろしい事件が起こるのを、わたしは示された。サタンとその天使たちは勢力を結集して、神の民に圧迫を加えようとしている。サタンはもしも彼らがもう少し眠っていれば、彼らを確保することができることを知っている。彼らの滅びは確実である。」

残りの民が地上歴史のこの最後の時において、大いなる力をもって第三天使の使命を伝える用意ができていないのは、なぜでしょうか。次の引用文が敵の策略を示しています。

### サタンの欺瞞

大下 400 「サタンは、できることなら、彼らとその日に立つ備えをするのを妨げようとする。サタンは彼らの道をふさぎ、この世の宝で彼らを迷わせ、重くて疲れさせる荷を負わせて、その心をこの世の煩いでいっぱい満たし、試みの日が盗人のように彼らを襲うようにと、事を運ぶであろう。」

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

9T 43 「人々に永遠の事を考えさせないように、サタンの力が働いている。敵は自分に都合が良いように事態を準備している。世俗の事業、スポーツ、現代の流行などで、男や女の心がいっぱいになっている。」

8T 316 「われわれは、心の注意を引き寄せようとする無数の問題に背を向けなければならない。多くの時間がかかり、調査を要する事でありながら、結局何の役にも立たないものがある。われわれは最も重大な事に、十分の注意と努力を払わなければならない。ところがそれはしばしば比較的重要なことに費やされている。……われわれは霊的生命を養い、刺激する食物を魂に与える事を、われわれの義務と考えなければならない。」

1T 341 「人間は生まれながらサタンの示唆（しさ）に従う傾向がある。そして人間は、大勝利者であられるキリストが彼の内に住み、彼の欲望を導き、彼に力を与えるのでなければ、恐ろしい敵に抵抗して勝利することはできない。…サタンは彼の欺瞞の用意をしている。そして神の民に対する彼の最後の努力において、それがサタンである事を彼らにわからせないようにしている（2 コリ 11:14）。」

大下 247 「この油断のない敵は、彼らのあとを絶えずねらっている。」

1T 302 「悪天使はいつもわれわれのあとをつけている。」

8T 294 「わたしはすべての人々に警戒していなさいと言う。なぜならば、サタンは光の天使のように、キリスト者のすべての集会、そしてすべての教会の中を歩いていて、教会員を彼の側に引き入れようとしているからである。」

われわれの義なるキリスト 149 「神の民がすべての妨害となるものを取り除いて道を開き、主が聖霊を注ぐことがおできになることほどサタンが恐れることはない。」

5T 397 「われわれは、人間の心の利己心と腐敗との闘いを絶えず続けていかなければならない。…一時間、あるいは一瞬間でも神を忘れる者は、危険な道にある。」

5T 394 「キリスト者が警戒を怠れば、いつでもこの強力な敵は、不意に激しく攻めて来る。」

天使たちの三分の一が欺かれました。エバも、彼女の長子カインも、欺かれました。洪水のとき八人のほかは皆、欺かれました。キリストの時代の宗教的指導者たちの多くは、神のみ子が彼の最大の奇跡を行われるのを目撃しながらも、なお欺かれました。

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

サタンの方が大いに強化される最後の時代において（霊の賜物第二巻 277）、彼はできることならば、選民をも欺こうとします。（マタイ 24:24）。

**CT 322** 「サタンの誘惑の力が増大するために、われわれの住んでいる時代は、神の子供たちにとって危険に満ちている。」

**5T 102,103** 「われわれの地位がどんなに高くても、絶えず目をさまして祈る必要がある。われわれは毎日、神の聖霊に支配されていなければならない。さもないとわれわれはサタンに支配されるのである…神に全く献身していない人々は、キリストの奉仕をしているとうぬぼれていながら、サタンの働きをするようになることがある。」

**TM 79** 「サタンは神の聖霊の支配下に断固として立たないすべての者の心を支配する。」

**希下 105** 「避けるべき地獄と獲得すべき天国とがあることを全心全霊から信じている人は少ない。」

**1テサ 5:17** 「絶えず祈りなさい。」

**キリストの苦難 8** 「信仰の祈りを絶えず熱心にささげているならば、サタンのどんな激しい攻撃にも抵抗することができ、

光と力が与えられる。」

9T 44 「今、われわれには、熱烈な真剣さがなければなら  
ない。」

### 神の民の覚醒

ラオデキヤへのメッセージに関する次の注解をよく考えて  
みましょう。

5T 233 「あなたはまことの証人の勧告を聞いて、火で精錬  
された金と、白い衣と目薬を求めるであろうか。金は信仰と愛  
である。白い衣はキリストの義である。目薬は靈的識別力であ  
って、それによってわれわれは、サタンの策略を見分けてそれ  
を避け、罪を看破してそれを憎み、真理を認めてそれに服従す  
ることができるようになる。」

しかし多くの人々は、天からの油が注がれなければならない  
という事実をよく理解していません。…「思慮の浅い女たち」  
というのは神の聖霊が心に真の働きをしていない者の品性を  
表わしています。キリストの再臨は、思慮の浅い女たちを、思  
慮深い女たちにはしません。…「思慮の浅い女たちによって  
代表された教会の状態は、またラオデキヤ教会の状態ともいわ  
れている。」 (RH 1890/8/19)

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

4T 87 「ラオデキヤへのメッセージは、現代の真理を信じると言っている神の民にあてはまる。その大部分は名目だけで熱心さがなく、なまぬるい信者たちである。…彼らは自己に死ぬことを好まない。」

1T 186 「ラオデキヤへのあかしは、現代の神の民にあてはまることをわたしは示された。…それは神の民に覚醒を促し、彼らの背信を指摘し、熱心な悔い改めに至らせて、彼らがイエスの恵みにあずかり、第三天使の大いなる叫びをするのにふさわしいものとなるために、計画されたものであった。」

以上の引用文によって明らかなように、神の民はラオデキヤへのメッセージに聞き従うことによって、後の雨の時に第三天使の使命を大いなる力をもって宣布する準備が与えられるのです。霊的貧しさを自覚しないで、まことの証人であられるキリストの勧告に従わないラオデキヤの人々は、ふるわれます。

初文 438,439 「わたしは、わたしが見たふるいの意味をたずねた。そして、それは、ラオデキヤ教会へのまことの証人の勧告が生じさせた率直なあかしによるものであることを、わたしは示された。これは、受ける者の心を動かして、高く旗をかげさせ、率直な真理を語らせる。ある者は、この率直なあかしを聞くにたえない。彼らは、それに反対して立ち上がる。そして、これが、神の民の間にふるいが行われる原因となるので

ある。

わたしは、真の証人のあかしが、その半分も注意されないのを見た。教会の運命がかかっている厳粛なあかしが全く無視されないとしても、軽視されている。このあかしは、深い悔い改めを呼び起こすべきものである。それを真に受け入れるすべての者は、それに従って清められるのである。」

### メッセージに聞き従う人々

もし、残りの民への最後のメッセージに聞き従うならば、わたしたちはふるわれません。全国的に日曜休業令が施行される時に、わたしたちは、大いなる試練に耐えて、後の雨を経験し、大いなる叫びがあげられる間、大きな力をもってメッセージの宣布に参加するのです。忠実な残りの民は、まことの証人であられるキリストの勧告に従います。彼らは自我を十字架につけ、聖霊によって変えられ、後の雨を受けるのに、また生きながら天に携え上げられるのにふさわしい者とされます。

7T 14 「神の指導を受けるために、神の支配に従う人々は、神が起こるようにお定めになった事件のはっきりとした動きを悟る事ができる。彼らはこの世の生命のためにその命をお与えになった方の霊を受けたのであるから、もはや自分たちの力の及ばないことを指し示して無力のまま立ったりしてはいない。彼らは天の武具を身にまとして戦いに出て行き、全能の神がこれらの必要を満たしてくださることを信じて、神のために

## 第1章 残りの民に対するキリストのメッセージ

進んで働くのである。」

9T 107 「もしわれわれが神に働きをする器を提供するならば、神は働きをなさるのである。」

7T 16,17 「われわれには、来たるべき運命について、世界に警告を発するという重大な責任が負わせられている。遠い所や近い所など、あらゆる方面から助けを求める叫びが上がっている。神は教会が立ち上がって力を着るように呼びかけておられる。永遠の冠を得なければならぬ。天国に入らなければならぬ。無知の中に滅びつつある世界に光を照らさなければならぬ。

第三天使の使命が大いなる叫びになる時、その宣言に大きな力と栄光が伴う。神の民の顔は天の光で輝く。」

これは何という輝かしい機会でしょう。わたしたちは、ラオデキヤへの愛のメッセージに聞き従って、毎日自我に死に、生活を完全に聖霊の支配にゆだねて、すみやかに後の雨に対する準備を行い、大いなる叫びの時に人を動かさずにはおかぬ力で、使命の宣布にあなたの分を尽くすのです。

## 第2章 先の雨が今必要



国上 115 「全宇宙は善悪の大争闘の最後の場面を、言葉では表現することができない深い関心をもって眺めている。神の民は永遠の世界の境界に近づいている。」

この教会の働きは、預言の成就として定められたときに起こりました。そしてそれは成し遂げられます。神はわたしたちと共に働きを完成されます(ローマ 9:28)。もしわたしたちが成し遂げなければ、神はほかの人々を用いて完成されます。

聖霊は奉仕のために与えられるもので、わたしたち自身が選んだ仕事のためではなくて、神がわたしたちにお命じになる働

## 第2章 先の雨が今必要

きをするためです。

希下 158 「われわれが聖霊を用いることはできない。みたまがわれわれを用いてくださるのである。みたまを通して神は民のうちに働き『その願いを起こさせ、かつ実現に至らせ』て下さるのである。」

### 聖霊の改変力

もし、聖霊にわたしたちの生活を導いてほしくなければ、わたしたちは、霊の力ではなくて、肉の力によって行動しているのです。その結果はどうなるでしょうか。それについて神は次のように答えておられます。

5T 158 「聖霊と神の力がなければ、真理を伝えるためにわれわれが働くのはむだである。」

イエスが昇天される直前に言われた最後の言葉を、いつも覚えていなければなりません。

使徒行伝 1:8 「ただ、聖霊があなたがたにくる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」

1SM 156 「偉大な教師であられるキリストは、選ぶことができる主題が無数にあったにもかかわらず、彼が最も多く語られたのは聖霊のたまものについてであった。このたまものが与えられることによって教会にはどんな大きなことが起こると、主は予告されたことであろうか。それなのに、今、これほど顧みられていない主題があるのか。」

希上 383,384 「人は、自分のうちに神のみかたちを回復し、神の働きをなすことができるようになるためには、自分以外のそして自分以上の力が必要である。だからといって、人間の力が不要だということにはならない。人性は神の力をとらえ、信仰によって、キリストが心のうちにお住みになる。こうして神との協力にとって、人の力は善をなすのに効果的となる。

ガリラヤの漁師をお召しになったイエスは、いまもなお人々をご自分の奉仕に召しておられる。しかもイエスは、最初の弟子たちを通して力をあらわされたのと同じに、われわれを通してよろこんで力をあらわされる。」

1SM 374 「聖霊が心に働くことによつてのみ、われわれは天国にふさわしいものとされることができる。なぜなら、もしわれわれが天の父に近づこうとするならば、その資格としてキリストの義を持たなければならない。われわれがキリストの義を持つためには、毎日聖霊の感化によつて変えられ、神の性質にあずかる者とならなければならない。嗜好を高め、心を清め、人間全体を高貴にするのは聖霊の働きである。」

## 第2章 先の雨が今必要

サタンは、にせものを提供して、聖霊の降下を妨げようとしています(大下 190,191 参照)。

長年にわたって、わたしたちは、にせものの証拠を見て来ました。時はもう遅いのですから、本物の証拠が十分にあるのではないのでしょうか。今日、世界が何よりも必要としているのは、最後の警告のメッセージを伝えると公言する人々の生活に、聖霊の改変力の現われを見ることです。

1942年11月1日付の個人的手紙の中である世界総会副総理(すでに死去)は次のように書きました。

「今、働きの完成を妨げている唯一のものは、各地におけるわが教会の教会員が、心からの深い献身をしていないことと、彼らの心の中で恵みの働きがまだ十分に行なわれていないことであると信じます。もしわれわれの働き人と教会員とがしっかりとしていたならば、後の雨は豊かに注がれ、メッセージは野の火のように広がったことでしょう。」

この最後の時代において、先の雨の力に欠けていることを、謙遜に認めなければなりません。ラオデキヤへのキリストの勧告に忠実に従って、すみやかに、「慰めの時」の経験にあずかる準備をし、この使命が「大いなる叫び」によって力強く宣布されるときに、それに参加する用意をしなければなりません。

預言の霊からの次の引用文は、後の雨がこのように遅れている理由と、この使命を大いなる力をもって宣伝するためにわたしたちのなすべきことを示しています。

1T 261 「わたしは神の民が何かの変化が起こるのを待ち、ある種の強制的な力が彼らを支配するのを待っているのを見た。しかし彼らは失望する。それは彼らがまちがっているからである。彼らは行動を起こし、自分で仕事にとりかかり、自分自身の実際の状態を知るように、熱心に神に叫び求めなければならない。われわれの前に起こっている光景は、非常に、重大である。だからわれわれは目ざめて、耳を傾けるすべての者に真理をよく理解させなければならない。」

1T 619 「もし神の民が、自分たちで何の努力もせずにおいて、慰めの時が来て、彼らの悪を取り除き、そのあやまちを正すのを待ち、また、それによってすべての霊と肉の汚れが清められて、第三天使の大いなる叫びに従事するのにふさわしい者とされるのを待っているとすれば、彼らはその資格のないことが明らかにされることをわたしは示された。」

TM 507,508 「多くの者の大部分は、先の雨を受け損じている。彼らは神がこうして彼らのために準備された祝福のすべてを得ていない。彼らはその欠乏を後の雨によって補われることと思っている。恵みがあふるるばかりに与えられる時に、彼

## 第2章 先の雨が今必要

らは心を開いてそれを受けようと思っている。彼らは恐ろしいまちがいを犯している。…もしもわれわれが前進せず、先と後の雨の両方を受けようとする態度を示さないならば、われわれは自分たちの魂を失うことになり、その責任は、われわれ自身が負わなければならない。」

### 不可欠の先の雨

先の雨における聖霊は、わたしたちをきよめ、改変して、すべての点において勝利するようにしてください。これは、後の雨を受ける前にしなければならない準備です。

**1SM 190** 「今日、あなたがたは自己をむなしくすることができるために、自分自身を神にささげなければならない。…今日あなたがたは後の雨を受ける準備として、あなたがたの器を清めなければならない。なぜならば、全ての汚れを清められて、慰めのときと聖霊のバプテスマを受けるのにふさわしくなったすべての魂に後の雨がくだり、神の祝福が与えられるからである。」

**5T 214** 「われわれの品性の欠点を改め、心の宮のすべての汚れを清めることは、われわれにゆだねられている仕事である。その時、先の雨がペンテコステの日に弟子たちに下ったように、後の雨がわれわれの上を下るのである。」

1T 187,188 「たといそれがどのような犠牲であって、すべての点において打ち勝ち、すべての試練に耐え、勝利するものは、まことの証人の勧告に聞き従ったものである。そして彼らは後の雨を受け、生きながら昇天するのにふさわしい者にされる。」

初文 149,150 「わたしは、多くの人々が、必要な準備をおろそかにしていながら、主の日に立ち得て神のみ前に生きるにふさわしいものとなるために、『慰めの時』と『春の雨』(後の雨)とを待っているのを見た。ああ、わたしは、なんと多くの人々が、悩みの時に、避け所がないのを見たことだろう。彼らは必要な準備を怠った。だから、彼らは、聖なる神の前に生きるのに適したものと彼らをするためにすべての者が持たなければならない慰めを、受けることができなかった。…すべての罪、誇り、利己心、世を愛する心、すべての悪い言葉や行為に勝利するのとなければ、だれひとりとして、「慰め」にあずかることができないのを、わたしは見た。であるから、われわれは、ますます主に近づき、主の日の戦いに立ち得るために必要な準備をするように、熱心に求めなければならない。神は聖であられて、神のみ前に住むことができる者は聖なる者だけであることを、すべての者が覚えているようにしよう。」

1T 186 「ラオデキヤへのあかしは、今日の神の民に当てはまるのをわたしは示された。…それは神の民を目ざめさせ、

## 第2章 先の雨が今必要

彼らに彼らの背信を自覚させて、彼らを熱心な悔い改めに導いて、彼らがイエスの臨在にあずかり、第三天の大いなる叫びをあげるのにふさわしい者とされるために計画されたものである。」

毎日、自我に死ぬことなく、聖霊に生活をきよめ、変えてもらわない人々は、後の雨の時の聖霊の現われを認めることも、理解することもできません。彼らはふるい落とされてしまいます。そして彼らの場所は、真理を堅く保って神の戒めを守る者と結合する人々によって補充されます。

**TM 399** 「聖霊が注がれる時に、先の雨を受けず、それを理解しなかった人々は、後の雨の価値を悟ることも理解することもできないことは確かである。」

**TM 507** 「先の雨によって代表された恵みを無視してはならない。自分たちが持っている光を実践している者だけが大きな光を受ける。われわれが毎日、活動的キリスト者の徳の模範を示すことに前進していなければ、後の雨における聖霊の現われを認めることができないであろう。われわれのまわりのすべての人に注がれていても、われわれはそれを認めることも受けることもないだろう。」

**2SM 57** 「聖霊を受けていない者は、シオンの城壁の上で忠実な見張りとはなり得ない。なぜならば、彼らは自分たちの

なすべき仕事について悟らず、しっかりしたラッパの音を出さないからである。

ペンテコステの時のような聖霊のバプテスマは、真の信仰のリバイバルと、多くの驚くべき行為の復興をもたらすであろう。天の使いたちはわれわれの所を訪れ、人々は聖霊に動かされて語るのである。しかし主がペンテコステの日とそれ以後において人々に働かれたように働かれるならば、今真理を信じていると公言する多くの者は、聖霊の働きに対する理解が欠けているために、『狂信に注意せよ』と言うであろう。彼らは聖霊に満たされた人々に向かって、『あの人たちは新しい酒で酔っているのだ』と言うであろう。…聖霊が男女に下る時に、それを疑い批評する人々が起こるのである。それは彼ら自身の心が感動を覚えず、冷淡で感受性がないからである。」

初文 439,440 「この一団の数は減少していた。ある者は、ふるい落とされて、途中に残された。勝利と救いを尊んでそのために忍耐強く嘆願し苦悩した人々に加わらなかった不注意で無関心な人々は、それにあずからず、暗黒のうちに取り残された。そして、彼らの場所は、真理を信じて隊列に加わる人々によって、直ちに補充された。」

### 後の雨の準備をするのは今である

5T 216 「わたしたちが品性の衣を洗い、小羊の血によって

## 第2章 先の雨が今必要

白くしなければならないのは今である。わたしたちが誇り、情欲、靈的怠慢に勝利しなければならないのは今である。わたしたちが目をさまして、品性の均衡のとれた発達のために決定的な努力をしなければならないのは今である。『きょう、み声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにはいけない』。われわれは、今、最も困難な立場にあって、目をさまして主の來臨を待っている。世界は暗黒の中にある。『しかし兄弟たちよ。あなたがたは暗やみの中にいないのだから、その日が盗人のようにあなたがたを不意に襲うことはないであろう』とパウロは言っている。

兄弟がた、あなたがたは大いなる準備の働きにおいて何をしているか。世と妥協している者は、世の型を受け、獣の刻印を受ける準備をしている。自己に頼らないで神の前で謙遜に、真理に従って魂を清める者は、天の型を受け、彼らの額に神の印を受ける準備をしている。法令が發布されて印が押される時、彼らの品性は永遠に清く、しみのないものとなる。」

時は非常に遅い。遅らせてはなりません。イスラエルは、二週間で約束の国に行けたにもかかわらず、四十年間も荒野をさまよいました。

神の民が後の雨を受ける準備ができた時に、神の働きは短時間に終了するのです。

OHC 187 「われわれは聖靈に守られ、支配されていなか

れば、一瞬でも安全ではない。」

人あ下 19 「われわれの心の衝動、思考能力、性質などは、一瞬でも神の霊の支配下になくてもよいものはない。」

8T 46 「われわれには神の生命のいぶきが、吹き込まれなければならない。…受ける用意ができた者には、洪水のような霊の力が注がれるのである。」

5T 158 「われわれはペンテコステの日に弟子たちが祈ったように、聖霊が降ることを熱心に祈らなければならない。」

わたしたちの最大の必要は、後の雨に対する準備をさせてくださる聖霊を毎日受けることです。

## 第3章 キリストの心



ピリピ 2:5 「キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互いに生かしなさい。」

フィリップス訳「あなたがたの取るべき態度については、キリストご自身をあなたがたの模範にしなさい。」

**TMK 265** 「キリストはわれわれの手本であり、われわれが従うように与えられた完全なる模範である。」

ミニ 114 「世界が千九百年前に必要としたもの、すなわち、キリストの黙示は今日も必要である。」

TMK 174 「キリスト者になることはただキリストの名をとなえるだけではなくて、キリストの心を持ち、すべての事において神のみ心に従うことである。」

次の引用文は、キリストがいかに天の父に依存されたかを示しています。イエスは、わたしたちの模範です。

希下 162 「人性をとられたキリストは神の力にたよられた。『わたしは、自分からは何事もすることができない』とイエスは言明された。」

希中 59,60 「イエスが目をさまして嵐に応じられたとき、彼は平安そのものであった。その言葉にも顔つきにも恐怖の跡はみられなかった。イエスの心の中には恐怖がなかったのである。しかしイエスは、ご自分が大能の力を持っておられることをあてにされなかった。イエスが静かに落ち着いておられたのは、天と地と海の主としてではなかった。イエスはその大能の力をさしおいて、『わたしは、自分からは何事もすることができない』と言われる(ヨハネ 5:30)。彼は天父の力に信頼された。イエスが安心しておられたのは、信仰、すなわち神の愛と守りに対する信仰のゆえであった。嵐を静めたみことばの力は神の力であった。」

ヨハネ 14:10 「父がわたしのうちにおられて、みわざをな

### 第3章 キリストの心

さっているのである」とイエスは言われます。

ヨハネ 15:5 「わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とイエスは言われます。

キ実 140 「わたしたちの行う善行は、すべて、わたしたちの外からの力によるものである。」

わたしたちがラオデキヤの状態にあるとき、わたしたちは自分の必要を認めません。「何の不自由もない」と思っています。

ミニ 437 「人間にとって最大の危険は自己欺瞞におちいることである。」

ガラテヤ 6:3 「もしある人が、事実そうでないのに、自分が何か偉い者であるように思っているとすれば、その人は自分を欺いているのである。」

われらの義なるキリスト 124 「人が自分の無価値な事を認めた時に、キリストの義を着せられる用意ができたのである。」

希上 254,255 「しかし神のみ子は、天父のみこころに従い、天父の力をあてにされた。キリストは、ご自分をまったくむなしくされたので、ご自分で計画をおたてにならなかった。主はご自分のために神のご計画を受け入れられたので、天父は日ご

とにその計画をお示しになった。同じようにわれわれも、自分の生活が神のみこころのはっきりしたあらわれであるように、神に依存すべきである。」

希中 138 「イエスは、神のみこころにまったく服従されたので、その生涯には天父のみがあらわされた。」

キ実 128,129 「キリストの生涯は、人間がもし神の性質を持つならば、いったい何ができるかを示した。キリストが神からお受けになったものはみな、わたしたちも持つことができるものである。」

9T 22 「男も女も神の力と神の指導の下にあつて、キリストがこの世で送られたような生活を送ることができる。彼らはサタンとの戦いにおいて、キリストが与えられたのと同じ助けが与えられる。彼らを愛して、彼らのために己れをかかげられた方によって、勝ち得て余りあるのである。」

希中 333 「自我を屈服させることがキリストの教えの本質である。」

希下 147 「イエスは、人がイエスに対する信仰を通して持つことのできないような特性をあらわしたり、能力を働かせたりされなかった。」

### 第3章 キリストの心

祝山 65 「人々が自分たちの道を選ぶときはいつでも、神に敵対することになる。彼らは天の原則と戦っているのであるから、天のみ国にはいることはできない。」

イエスは次のように言われました。

ヨハネ 6:38 「わたしが天から下ってきたのは、自分のところのままを行うためではなく、わたしをつかわされたかたのみところを行うためである。」

ヨハネ 8:29 「わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしている。」

使徒パウロはキリストの模範に従い、次のように言いました。

ガラテヤ 2:20 「生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。」

そして彼は次のようにわれわれに勧めています。

1 コリント 10:31 「だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである。」

神は心によって肉体を支配しようとしておられます。サタンは肉体によって心を支配しようとしています。

1T 487 「体は心の僕でなければならない。そして心は肉体の僕であってはならない。」

3T 507 「すべての者は感覚がサタンに敗北しないように、感覚をよく見守っていなければならない。なぜならば、これらは魂への通路だからである。」

3T 476 「多くの者の感覚は、食欲にふけることと、罪に慣れることによってまひしている。」

キリストの苦難 11,12 「われわれの救い主は、人間の魂を危険に陥れるこの大いなる誘惑（食欲をほしいままにすること）においてサタンの力に抵抗された。もし人間がこの誘惑に勝利するならば、他のすべての点においても勝利することができる。」

キリストは毎日聖霊のバプテスマを受けられた

キ実 114 「キリストは、わたしたちに与えるために、父なる神から絶えずお受けになった。…イエスは、自分のため

### 第3章 キリストの心

はなく、他の人々のために生き、考え、そして祈られた。イエスは、毎朝神との交わりに幾時間かを過ごしたあとで、人々に天の光を与えるために出ていかれた。イエスは、日ごとに聖霊の新しいバプテスマをお受けになった。」

希上 135 「キリストの人性は神性と結合していた。イエスは聖霊の内住によって戦いに備えられた。しかもイエスはわれわれを神のご性質にあずかる者とするためにおいでになったのである。」

もし神のみ子イエスが、毎日聖霊のバプテスマを新たに受ける必要があったとすれば、わたしたちは一体どうでしょうか。キリストは、あらゆる点においてわたしたちの模範ですから（キ道 127）わたしたちは、戦いに備えるために毎日聖霊の内住の経験を持たねばなりません。

祝山 25 「失われた人類の救いのためにご自身をむなしくされたイエスには、聖霊が限りなく与えられた。同じように主が内にお住まいになれるように全心をささげる時、キリストに従うすべての者に聖霊が与えられるのである。」

TMK 34 「もしキリストが勝利されたようにわれわれも勝利したいと思うならば、われわれはキリストをながめなければならぬ。われわれはキリストが抵抗されたように抵抗しなければならぬ。われわれは彼が祈られたように祈らなければならぬ。」

らない。われわれは被が苦悩されたように苦悩しなければならない。」

TMK 16 「聖霊は常に人間に与えられていなければならない。さもないと、人間は暗黒の勢力と戦う気持ちを起こさないのである。」

### 聖霊はわたしたちのために何をされるだろうか

希上 110 「罪にとって、それがどこにみいだされようと、『わたしたちの神は、実に、焼きつくす火である』（ヘブル 12:29)。神のみたまは、その力に服するすべての者のうちにあつて、罪を焼きつくす。しかしもし人が罪に執着するなら、その人は罪と一体となる。そのとき罪を滅ぼす神の栄光は、当然その人も滅ぼしてしまうのである。」

希上 203 「神のみたまが心を占領されるとき、それは生活を生まれ変わらせる。罪の思いはしりぞけられ、悪い行為は放棄され、愛と謙遜と平安が怒りとねたみと争いに入れ代わる。よろこびが悲しみに入れ代わり、顔には天の光が反映する。だれも重荷を持ちあげる手を見たり、天の宮からくだる光を目に見たりする者はない。祝福は、信仰によって魂が神に屈服するときに与えられる。その時、人間の目で見ることのできない力が、神のかたちにかたどって新しい人間を創造する。」

### 第3章 キリストの心

1SM 374 「われわれは聖霊が心に働かれることによるのみ、天にふさわしい者とされることができる。…われわれは、毎日、聖霊の感化によって変えられる必要がある…。」

RH 1896/8 「聖霊は新たにされた魂をキリスト・イエスの型に適合させる。」

CH 594 「われわれが、罪に陥らない唯一の安全な方法は、絶えずわれわれを形造る聖霊の感化力の下にあることである。」

患上 50 「もし人々が作りかえられることを望むならば、全人格のきよめがなし遂げられるであろう。み霊は神に関する事柄を取り、それを魂に刻みつける。」

1SM 337 「ろうに印がおされるように、魂は神の霊の感動を受けて、キリストの形を保持しなければならない。」

### 神の愛

ローマ 5:5 「わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。」

キ実 395 「み霊の内住は、天の愛があふれ出ることによっ

てわかる。」

キリストの愛は、どれほど大きなものだったでしょうか。イエスは十字架につけられた時に、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているかわからずにいるのです」と祈られました。何という驚くべき愛でしょう。

ピリピ 2:5 「キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互いに生かしなさい。」

わたしたちが、イエスが愛されたように愛する時、聖霊は世界が最も必要としているものを与えるために、わたしたちをお用いになります。

キ実 395 「人間によって救い主の愛があらわされることほど、世界が求めているものはない。」

キ実 390 「人びとの心に、みことばの原則を植えつけることによって、聖霊は、彼らの心の中に神の性質をめばえさせる。神の栄光の光、すなわち、神の品性が、神に従う者のなかに輝き出なければならない。」

キ実 392 「あわれみに満ちた最後の光、世界に伝えるべき最後のあわれみの使命は、神の愛の啓示である。神の子らは、神の栄光をあらわさなければならない。」

### 第3章 キリストの心

**TM 50** 「遂に教会によって神の愛の完全な表示が世界に行なわれて、世界はその栄光に照らされるのである。」

これは何という責任でしょう。何という挑戦でしょう。何という特権でしょう。聖霊の大いなる力によって神の愛の品性と、神の栄光とを現わさねばなりません。

人間がこの事をなしとげる唯一の方法は、毎日自我に死んで、毎日聖霊のバプテスマを受けることです。神の力に全く服従する時、聖霊はわたしたちの内にある罪を焼き尽くされます。そしてわたしたちの顔が天の光を反映するまでに、わたしたちをきよめ、精錬し、変化させます。聖霊は、神の形にかたどって新しいものを創造されます。神の愛があらわされます。その時、わたしたちは後の雨と大いなる叫びの用意ができるのです。

**患上 15** 「聖霊が降下したのち、弟子たちは主と、主が身代わりとなって死なれた人々に対する深い愛に満たされたので、弟子たちの語ることばやささげる祈りによって、人々の心は解かされたのである。弟子たちは聖霊の力によって語り、その力の感化によって幾千もの人々が改心した。」

**キ実 380,381** 「兄弟に対する愛がなく、神の前にけんそんがないならば、彼らは無に等しいのである。……利己心が死に、首位を争う心が消え、心に感謝が満ち、愛が生活をかぐわしいものとするそのときこそ、キリストが魂のうちに宿り、わたし

「私たちは、神と共に働く者として認められるのである。」

6T 401 「キリストに対する愛とわれわれの兄弟たちに対する愛が、われわれがイエスと共にあってイエスから学んだものである事を世界にあかしする。その時に第三天使の使命は大いなる叫びになり、全地は主の栄光に照らされるのである。」

患上46 「み霊のバプテスマを日ごとに受けるためには、働き人がめいめい神に願いをささげなければならない。」

8T 23 「愛する兄弟姉妹がた、聖霊を祈り求めよう。」

聖霊のバプテスマを毎日受けるための代価を十分に払って、イエスの模範に従おうではありませんか。

ピリピ 2:5 「キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いをあなたがたの間でも互いに生かしなさい。」

## 第4章 エノクと、バプテスマのヨハネ



### 神を知ること

教育 307 「世界はかつてみられなかったような緊張につまれている。娯楽に、金もうけに、権力争いに、生存競争に、心も魂も肉体も恐るべき力にひきずられている。このたけり狂うあらしのさなかに神は静かにお語りになっている。」

神が人間に伝えようと望んでおられるこの重大な使命はいったい何でしょうか。エレミヤは、次のように言っています。

エレミヤ書 9:23,24 「主はこう言われる、『知恵ある人はその知恵を誇ってはならない。力ある人はその力を誇ってはならない。富める者はその富を誇ってはならない。誇る者はこれを誇とせよ。すなわち、さとくあって、わたしを知っていること、わたしが主であって、地に、いつくしみと公平と正義を行っている者であることを知ることがそれである。』」

イエスは次のように言っておられます。

ヨハネ 17:3 「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることです。」

ミニ 440 「神とイエス・キリストの知識は、…天の都のとびらを開く鍵である。」

希下 150 「神を知るとはわれわれの特権であるが、このように神を知るときに、われわれの生活は変わることはない服従の生活となる。」

キ実 90 「神と、神がつかわされたイエス・キリストを体験によって知るとは、人間を神のみ姿に変えるのである。」

8T 329 「われわれは、品性を改変する神の知識を大いに必要としている。もしわれわれが、神のみこころをなしとげるな

#### 第4章 エノクと、バプテスマのヨハネ

らば、われわれの生活には、神のみことばの教えにふさわしい神の啓示が現れる。

エノクとバプテスマのヨハネの経験は、われわれの経験がどのようなものであるべきかを表わしている。われわれはもっと真剣に、この人々の生活を研究しなければならない。彼らの一人は、死を見ることなくして天にあげられた人であり、もう一人は、キリストの初臨に先だって主の道すじを真っすぐにして、主の道を備えた人である。」

#### エノク

創世記 5:24 「エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。」

ヘブル 11:5 「信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。…彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。」

8T 329 「キリストによって与えられる無限で計り知れない神の愛が、昼となく夜となく彼の瞑想の課題となった。彼は熱誠をこめて、その愛をまわりの人々の間で現そうと努めた。」

神は世界が水によって滅ぼされる前に、忠実なエノクによって神の愛をあらわされました。そして今、神は火によって世界

が滅ぼされる前に、神の民によって神の愛をあらわすことを望んでおられます。神の愛があらわされることこそ、今日の世界が最も必要としていることです。

人あ上 81 「エノクが神と共に歩んだのは、恍惚状態や幻を見るようなものではなくて、日常のすべての務めを果たすことにおいてであった。彼は、自分を世から全く遮断して、隠者にならなかった。というのは、彼は、この世で神のためにしなければならない仕事があったからである。」

8T 330 「神の僕にあらわされた神の力を、彼の話を聞いた人々は感じた。…エノクの心は永遠の宝に向けられていた…彼はこの地上に住んではいたが、信仰によって光の世界に住んでいた。」

人あ上 81 「彼の心は、神のみ旨に一致していた。…エノクは、よく洗練され、すぐれた頭脳と広い知識の持ち主であった。彼は、神からの特別の啓示を受ける榮譽にあずかった。しかし、彼は、絶えず天との交わりを保って、神の偉大さと完全さを常に実感していたのでだれよりもけんそんであった。彼は、神とのつながりが親密になればなるほど、自分の弱さと不完全さを深く感じた。」

希下 126 「唯一の偉大さは、謙遜の偉大さである。」

#### 第4章 エノクと、バプテスマのヨハネ

偉大さの始めは小さくなることです。偉大さが増し加わることは、もっと小さくなることです。そして偉大さの完成は無になることです。エノクは、絶えず神と交わり、大いなる神の力を受けました。そして、彼は全くけんそんな人になりました。

人あし 81,82 「こうして彼は主に仕え、神のみこころを明らかに知って、それを実行しようと努めた。彼にとって、祈りは魂の呼吸であった。彼は天の雰囲気の中で生きていた。」

人あし 83 「エノクは、こうして、神と交わることによって、ますます神のみかたちを反映するようになった。彼の顔には、イエスのみ顔に輝く清い光が輝いていた。彼が、こうした神との交わりからもどってきたときには、神を信じないものさえ畏敬の念に打たれて、彼の顔に押された天のしるしをながめた。」

8T 329 「エノクの経験は、われわれの経験がどのようにあるべきかを表わしている。」

もしわたしたちが毎日自分を十字架につけて、何一つ保留することなく、自分自身を神にささげ、聖霊が注がれることをいつも祈り求めているならば、わたしたちの顔は、聖なる光に輝くようになり、それを見る人々は、わたしたちの顔に天のしるしを見るようになります。

このような生活は、わたしたちの大きな必要を満たします。そして聖霊は、世界の大きな必要を満たすために、わたしたちを用いてくださいます。その時に、神の働きは短時間のうちに完成されます。

わたしたちは心を合わせて次のように言いましょう。「エノクの経験は、人の子の再臨によって東の空が明るくなるまで、神の恵みと聖霊の力によって、われわれの経験がどのようにあるべきかを示している。」

人あ上 86 「この預言者の清い品性は、キリスト再臨の時に、『地からあがなわれ』る人々が到達しなければならない清い状態をあらわしている。…彼らは、エノクのように、主の再臨と罪に対して下される刑罰について世界に警告を発し、…世界が水によって滅ぼされる前にエノクが天に移されたように、生きている義人は、地が火によって滅ぼされる前に天にあげられる。」

8T 331 「エノクは三百年の間、天と調和するために心の清めを求めていた。彼は三百年の間、神と共に歩いた。彼は日ごとに密接な神との結合を望んだ。その交わりはいよいよ親しいものになり、ついに神は彼を取り去られた。彼は永遠の世界の門口に立ち、彼と天国とはわずか一步の違いだけになった。そして今や門は開かれた。この地上で長く続いた神との歩みは続いて、彼は門を通過して聖なる都に入った。彼は人間の中でそこ

#### 第4章 エノクと、バプテスマのヨハネ

に入った最初の人であった。『信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。…彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである』(ヘブル 11:5)。

神はわれわれをこのような交わりに招いておられる。主の再臨の時に人々の間から救われる者は、エノクのように品性が清くなければならない。」

5T 555 「今日われわれが最も必要としていることは、神の聖霊のバプテスマを受けた人々、すなわち、エノクのように神と歩く人々である。」

7T 155 「エノクのように神と共に歩かなければならない人々があるとするならば、今、それはセブンスデー・アドベンチストでなければならぬ。」

#### バプテスマのヨハネ

8T 329 「エノクとバプテスマのヨハネの経験は、われわれの経験がどのようなものであるべきかを示している。」

ヨハネ 5:35 「ヨハネは燃えて輝くあかりであった。」

希上 99 「神はザカリヤの子をとうとい働き、人間にゆだねられた最高の働きに召されたのであった。」

希上 99 「このような使者は聖なる者でなければならない。彼は神のみたまの内住する宮とならねばならない。」

8T 333 「われわれはヨハネが伝えたようなメッセージを伝えるためには、彼のような靈的経験を持たなければならない。われわれは神を見なければならない。そして神を見つつ、自分を忘れなければならない。」

8T 331,332 「バプテスマのヨハネは、荒野の生活において神の教えを受けた。彼は自然の中の神の啓示を研究した。彼は聖靈の指導のもとに預言者の書を研究した。昼も夜も、キリストが彼の研究と瞑想の課題であった。そして、遂に彼の心と精神と魂は、輝かしい幻に満たされるようになった。

彼はうるわしい王を眺めた。そして自己を忘れてしまった。彼は聖なる王を眺めた。そして自分の無力と無価値さを悟った。彼が宣言しなければならなかったのは、神のメッセージであった。彼は神の力と神の義によって立たなければならなかった。彼は神を見たのであるから、人間を恐れることなく、神の使者として出て行く用意ができた。彼は地上の王たちの前に恐れることなく立つことができた。なぜならば、彼は恐れおののきつつ、王の王の前に立ったからである。」

聖靈があふれるばかりに与えられた

8T 333,334 「ヨハネは、信仰をもってあがない主を眺めながら、自己否定の頂点に到達した。彼は人々を自分に引きつけようとはせず、彼らの思いをいよいよ高く引き上げて、神の小羊を信じて安んじさせた。…神の使者としての召しに忠実なものは、自分たちの榮譽を求めない。自己愛は、キリストに対する愛にのまれてしまうのである。自己を捨てた預言者の魂は、神の光に満たされた。…キリストの弟子たちもそのようになる。われわれは自己をむなしくしようとする時に、天の光を受けることができる。われわれは、すべての思いをとりこにしてキリストに従わせようとする時においてのみ、神の品性を理解し、信仰によってキリストを受け入れることができる。こうするすべての者に聖霊はあふれるばかりに与えられる。」

これは、わたしたちすべての者に与えられた約束です。わたしたちも、バプテスマのヨハネのように、条件にかなうならば、最大の必要が満たされます。その時、神は、世界の最も大きな必要を満たすために、わたしたちを器としてお用いになります。

9T 107 「もしもわれわれが神に器を提供するならば、神は働きをなさる。」

8T 332 「ヨハネは、念の入った議論や詳しい学説を唱えて彼のメッセージを伝えたのではなかった。驚くべき厳格さを持ちながら、希望に満ちた彼の声が荒野から聞こえてきた。『悔

い改めよ、天国は近づいた』(マタイ 3:2)。それは不思議な新しい力で人々を動かした。全国がわき立った。群衆が荒野に集まった。」

神は、一国民を動かすために、荒野で一人の人間をお用いになりました。神は、全世界を動かすために、忠実な残りの民をお用いになります。忠実なわずかの者の中に加わりたくと決心するならば、今、急いで準備をしなければなりません。ヨハネの経験は、わたしたちの経験がどのようなものであるべきかを示しています。

8T 332 「まわりの地方から無学な農民や漁夫たち、ヘロデの兵舎から来たローマの兵隊たち、剣を腰に下げて反逆でも起こればすぐに鎮圧しようとかまえていた指揮官たち、税関から来た強欲な取税人たち、実に清めのしるしをつけてサンヒドリンから来た祭司たちなどがみな、魅せられたように彼の言葉に聞き入った。そして、パリサイ人、サドカイ人、冷淡な者、無感覚な嘲笑者たちさえも含めて、すべての者が冷笑することをやめて、心に深く罪を感じながら去っていった。宮殿のヘロデもメッセージを聞いた。そして、高慢で罪に無感覚になった王は、悔い改めの呼び声に震えた。

キリストが天の雲に乗って再臨される直前のこの時代において、ヨハネのような働きが行われなければならない。神は、主の大いなる日に立ち得る民を用意する人々を求めておられる。」

#### 第4章 エノクと、バプテスマのヨハネ

7T 16 「来たるべき運命について世界に警告を発するという重大な責任が、われわれに負わされている。神は、神の教会に、立ち上がって力を得るように求めておられる。」

CM 155 「神の働き人はもっと深い経験を得なければならない。もし彼らがすべてを主にささげるならば、主は彼らのために大いなる働きをしてくださる。」

## 第5章 後の雨



先の雨は日ごとに信者の心を満たし、罪に勝利を与え、キリストの義でおおうところの聖霊の改変力です。

後の雨はあかしをする力です。後の雨は、神の忠実な残りの民に、説得力をもって第三天使の大いなる叫びをあげる準備をさせます。その時、世界の目は、神の戒めを守る人々に集中します。

その時、神の民は神の愛をあらわし、神の品性、すなわち神の栄光をあらわします。こうして彼らは、仲保者なしで最後の

## 第5章 後の雨

七つの災害がくだる間、立ち得る準備ができます。

**1SM 192** 「聖霊がいつくだるか、すなわち、いつ大いなる天使が天からくだって、第三天使に加わり、この世界の働きを終了するかについては、はっきりした時がわたしにはわからない。わたしの言いたいことは、われわれはあかりを整えて火をともし、天からの慰めの時のために準備をしていることが唯一の安全なことであるということである。」

神の僕は、聖霊がくだる時がいつであるかを指示されませんでした。しかし、『『悩みの時の開始』、…『後の雨』すなわち主のみ前からの慰めの時が来』と言われました（初文 173）。これは災いがくだる前の短い悩みの時です。全人類が二つのグループに分けられる時が近づいています。獣のしるしを持った者と、額に神のみ名を持った者とに分けられます。

### 獣のしるし

**大下 165** 「米国の主要な教会が、その共通の教理において合同し、国家を動かして教会の法令を施行させ、教会の制度を支持させるようになるそのときに、プロテスタント・アメリカは、ローマ法王制の像を造り、その必然の結果として、反対者たちに法律上の刑罰を加えることになるのである。」

大下 170,171 「しかし、過去においては、聖書の安息日を守っていると信じて、日曜日を守ってきたキリスト者たちがいた。また、日曜日は神が定められた安息日であると心から信じている真のキリスト者たちが、今も各教会におり、ローマ・カトリック教会も例外ではない。神は彼らの真剣な心と神の前での誠実さを受け入れられる。しかし、日曜日遵守が法律によって強いられ、真の安息日を守るべきことが世界に明らかにされるその時に、神の戒めを破って、単にローマの権威によるものにすぎないところの戒めに従う者は、それによって、神よりも法王教をあがめるのである。そのような人は、ローマに敬意を払い、ローマが定めた制度を強制する権力に敬意を払っている。彼は、獣とその像を拝んでいる。こうして、神がご自分の権威のしるしであると宣言された制度を拒んで、その代わりに、ローマがその至上権のしるしとして選んだものを尊重するとき、人々は、それによって、ローマに対する忠誠のしるし、すなわち『獣の刻印』を受けるのである。こうして、この問題が人々の前に明らかに示されて、神の戒めと人間の戒めのどちらかを選ばねばならなくなったとき、それでも神の戒めを犯し続ける人々が、『獣の刻印』を受けるのである。」

5T 451 「新教会が深い淵を越えて手を伸ばし、ローマの力と手を握り、深淵を越えて心霊術に手を伸ばし、この三重の結合の力によって、わが国が新教と民主主義的政府の憲法のすべての原則を破棄し、そして法王権の虚偽と欺瞞とを普及させる準備をするときに、われわれは、サタンが驚くべき働きをする

## 第5章 後の雨

時が来て、終りが近いことを知るのである。」

大下 170 「米国における日曜日遵守の強制は、獣とその像の礼拝の強制となるのである。」

これがバビロンの倒れたしるしです。

これが問題点です。

獣とその像の礼拝に対する神の唯一の解答は、  
神の像が魂の中に回復されて、  
生活に反映されることです。

神の試練の時がすみやかに近づいています。

わたしたちは今、準備をしなければなりません。

7T 141 「神の律法の代わりに人間の律法を代用すること、すなわち、聖書の安息日の代わりに人間の権威のみに基づく日曜日を高めることが、人類歴史のドラマの最後の場面である。」

RH 1893/5/2 「米国民は恵まれた国民である。しかし彼らが宗教の自由を強制し、新教主義を放棄し、法王権を支持するときに、彼らの罪のますめは満ちて、国家としての背信が天の書に記される。この背信の結果は国家的破滅である。」

6T 18 「宗教自由の国アメリカが法王権と手を握り、良心を強制し、人々に偽りの安息日をあがめるように強いる時に、地球上のあらゆる国の人々は、その例にならうようになる。」

6T 395 「外国の国々が米国の模範に従うようになる。米国は主導権を握ってはいるが、同じ危機は世界の各地にいるわれわれの民の上にやってくる。」

大下 353-356 「いろいろな霊からの伝達は、神は日曜日を拒絶する者たちにそのまちがいを悟らせるために自分たちを送られたのだと宣言し、国家の法律は神の律法と同様に遵守しなければならないと断言する。霊たちはまた、世の中が非常に悪くなったことを嘆き、道徳的に墮落している状態は日曜日の冒瀆に原因があるという宗教家たちの証言を支持する。彼らのあかしを信じようとしないすべての者に対して、ますます激しい怒りが引き起こされる。」

大下 377 「教会は、政権の強大な権力に訴える。そして、この働きにおいて、カトリックとプロテスタントは提携する。日曜休業運動が、ますます大胆に、ますます断固として推進されるにつれて、戒めを守る人々に対して法令が発布される。彼らは、罰金や投獄をもって脅かされる。そして、ある者は有力な地位によって、また他の者は報賞や便宜の提供によって、信仰を放棄するよう勧誘される。」

### 大いなる試練

## 第5章 後の雨

**2SM 368** 「神の律法が無効にされて教会が火のような試練にふるわれるとき、今予想する以上の多くの人々が、欺く霊と悪魔の教えに耳を傾ける。」

**5T 717** 「兄弟がた、他の人々の運命と同様にあなたがた自身の救いが、目の前にある試練に対して今準備することにかかっていることを知っておられるだろうか。」（希上 110 第一段落、希上 203 第一段落、ローマ 8:14 参照）。

**7BC 976** 「獣の像は恩恵期間が終わる前につくられることを、主ははっきりとわたしに示された。これは神の民にとって大きなテストになるものであり、それによって彼らの永遠の運命が決定されるのである。」

**大下 378** 「あらしが迫って来るとき、第三天使の使命を信じると公言していながら、真理に従うことによって清められていなかった多くの者が、その信仰を棄てて反対の側に加わる。」

この時サタンがキリストをまねるでしょう。（大下 395-400 参照）。

**2SM 51** 「われわれは最後の時代にサタンがしるしと偽りの不思議を行なうことについて警告されている。そして彼は、これらの不思議な業を、恩恵期間の終わりまで続けて、自分が暗黒の天使ではなくて、光の天使である証拠として示そうとす

るのである。」

5T 81 「この時に、金が教会の中の不純物から分けられる。真の敬虔は、ただうわべだけの飾りと、はっきり区別される。われわれがその輝かしさを賞賛した多くの星が、その時に消え去って行く。」

希下 95 「試みの時に自分自身の安全を求めて背信する者たちは、偽りのあかしをたて、兄弟たちを裏切る。キリストは、光をこぼむ者たちが異常で冷酷な行動をとってもわれわれが驚かないように、このことについて警告された。」

### 後の雨と大いなる叫び

大下 190 「地上に神の最後のさばきが下るに先だって、主の民の間に、使徒時代以来かつて見られなかったような初代の敬虔のリバイバルが起きる。神の霊と力が神の子供たちの上に注がれる。」

初文172,173 「悩みのときの開始にあたって、われわれが出て行ってもっと徹底的に安息日を宣べ伝えたとき、われわれは聖霊に満たされた。…『悩みの時の開始』とここに言われているのは、災害が降り始めるときのことではなくて、キリストがまだ聖所におられて、災害がぐだり始める直前の短い期間を

## 第5章 後の雨

さしている。救いの働きが終了しつつあるその時、地上には悩みが起り、諸国民は怒り狂うが、第三天使の働きを妨げないように、まだ抑制されている。その時に、『後の雨』、すなわち、

主のみ前から慰めの時がきて、第三天使の大きな声に力をそえる。そして、最後の七つの災害がくだるときに、聖徒たちが立つことができるように準備を与える。」

6T 401 「…迫害のあらしがほんとうにわれわれのところにやって来る時、真の羊は真の羊飼いの声を聞く。失われた者を救うために、自己犠牲的な努力が行われる。そして、おりからさ迷い出ている多くの者が大いなる牧羊者イエスに従うために帰ってくる。…

キリストに対する愛、われわれの兄弟たちに対する愛が、われわれがイエスと共にあり、彼から学んだものであることを世に証明する。その時、第三天使のメッセージは大いなる叫びになり、全地は主の栄光に照らされる。」

初文 449-451 「わたしは彼らの上に大いなる光がとどまり、彼らが恐れる色なく、第三天使の使命の宣布に協力しているのを見た。…。忍耐強く待っている聖徒たちの上には神の栄光がとどまり、彼らは、バビロンが倒れたことを宣布し、神の民がバビロンの恐るべき運命からまぬかれるために、その中から出て来るように呼びかけ、恐れるところなく、最後の厳粛な警告を与えた。…天から力をさずけられた神のしもべたちは、

聖なる献身の念に顔を照り輝かせながら、天来の使命を伝えに出て行った。あらゆる宗教団体の中にちらばっていた魂は、呼び声に応じた。そしてちょうど、ロトが滅亡前のソドムから急いで出たように、とうといしもべたちが、運命の尽きた諸教会から急いで出た。」

(大下 382,383 参照)。

大下 376 「第三天使の使命も、このようにして宣布される。それが非常な力で伝えられる時が来るならば、主は謙遜な器を通して働かれ、主の奉仕に献身した人々の心を導かれる。働き人は、学歴ではなくて、聖霊を注がれることによって資格を与えられる。信仰と祈りの人は、聖なる熱意に燃えて出て行き、神から与えられる言葉を宣言せざるを得なくなる。バビロンの罪は暴露される。教会の法令を政権によって強制することの恐るべき結果、心霊術の侵入、法王権のひそかではあるが急速な発展などが、みな暴露される。これらの厳粛な警告によって、人びとは動かされる。こうした言葉を聞いたことのない者が、幾千となく耳を傾ける。」

8T 20 「人々が聖霊の支配に自分たちをゆだねる時に、神は大いなる働きをすることがおできである。」

今や教会の働きが、輝かしい栄光のうちに全世界において終わるときです。

## 第5章 後の雨

5T 754 「…この働きが遂に完成されるその速度は、いなづまの速度にたとえられている。」

9T 96 「神が事態を支配しておられることを示す事件が続々と起こる。」

ローマ 9:28 「主は、御言をきびしくまたすみやかに、地上になしとげられるであろう。」

6T 19 「キリストの義のメッセージは、主の道を備えるために、地球のこの果てから、かの果てまで伝えられなければならない。これが第三天使の働きを終了する神の栄光である。」

祝山 53 『『起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから』(イザヤ書 60:1)。福音の預言者イザヤを通して語られたキリストのみことばは、山上の説教に反響しているにすぎないのであるが、このみことばは、終わりの時代に住むわたしたちのために語られたのである。もしあなたの心に主の栄光がのぼり、あなたが万人にぬきんでる主の美しさ、美しさの窮みであるおかたを見、あなたの魂が主の臨在の栄光によって輝くようになったら、この言葉は主からあなたに送られているのである。』

キ実 391 「世界の暗黒の中に、神の栄光の光、恵みとあわ

れみと真理の光が輝かなければならない。」

初文 451 「わたしは、第三天使の使命が終わろうとしている時をさし示された。神の民には天来の力がやどり、彼らは働きを完成して、目の前の試練の時に対する備えができていた。彼らは、後の雨、すなわち神のみ前より来る慰めを受け、生けるあかしが復活していた。最後の大きいなる警告が至る所で叫ばれ、それは警告を受け入れたくない地上の住民をわき立たせ、怒らせた。」

TM 445 「世と肉と悪魔に勝利する者は、生ける神の印を受ける恵まれた者である。」

7BC 968 「悩みの時に入る直前にわれわれはみな、生ける神の印を受けた。その時、わたしは、四人の天使が風を止めることをやめるのを見た。そしてわたしは、ききん、疫病、戦争が起こり、国は国に逆らって立ち、全世界は混乱に陥るのを見た。」

大下 385,386 「すなわち、最後の試みが世界に臨み、神の戒めに忠実であることを示した者はみな、『生ける神の印』を受けたのである。その時イエスは天の聖所でのとりなしをやめられる。」

### 恩恵期間の終了

初文 452-454 「わたしは天使たちが、天をあちこちと飛びまわっているのを見た。墨入れを持ったひとりの天使が、地上から帰ってきて、自分の働きの終わったことを報告した。そこで聖徒の数がかぞえられて封印された。すると、それまで十誠の納められている箱の前で奉仕しておられたイエスが、香炉を投げ捨てられるのをわたしは見た。彼は両手をあげて、大きな声で、『事はすでに成った』と言われた。イエスが『不義な者はさらに不義を行い、汚れた者はさらに汚れたことを行い、義なる者はさらに義を行い、聖なる者はさらに聖なることを行うままにさせよ』と厳粛に宣告されると、天使の万軍は冠をぬいだ。…イエスが至聖所から歩いてこられると、…暗黒の雲が地上の住民をおおった。その時は、もう、不義な人類と神の怒りとの間には仲保者がおられない。…それからわたしは、イエスが祭司の服をぬいで、王の衣を身につけられるのを見た。イエスの頭上には、幾つもの冠がかさなり合っていた。イエスは天使の万軍にとりかこまれて、天を出発された。苦難は地の住民にふり注いでいた。ある者は神の不当を鳴らし、ある者は神をのろっていた。また中には、神の民にとびついて、神の刑罰からのがれるにはどうしたらよいか教えてほしいとたのむ人々もあつた。しかし聖徒たちは、彼らのためにどうすることもできなかつた。罪びとのために最後の涙が流され、最後の苦悩の祈りがささげられ、最後の重荷が負われ、最後の警告が

あたえられていたのであった。…『遅すぎた！ 遅すぎた！』  
ということばを、彼らは恐ろしい気持ちではっきりきいた。」

災いが下り始める時に、多くの人々が、早くしておればよかったと思うことを、今、しようではありませんか。その時になって何一つ保留もせずに服従し、聖霊のバプテスマを日ごとに受けようと熱心に求めても、もうおそいのです。

今こそ、自我を捨て、後の雨のための用意を急がねばなりません。

8T 22 「われわれが力を受けるのはこのような方法なのである。だからわれわれはどうして聖霊の賜物をうえかわくように求めようとしないのだろうか。なぜそれについて語り、それについて祈り、それについて説教しないのだろうか。」

TM 64 「…何故、われわれは教会の代表者として恵みの座の前にひれ伏し、砕けた心と悔いた心とをもって、天から聖霊がわれわれの上に注がれるように切なる願いをしないのだろうか。」

われらの義なるキリスト 165 「われわれは団体として、われわれの心を神の前に低くして、聖霊の賜物を神に祈り求めようではないか。」

## 第5章 後の雨

**TM 310,223** 「われわれは瞬間ごとに聖霊の臨在が必要であることを自覚しなければならない。…われわれは敵のわなを避け、魂を危険にさらさないために、毎日、毎時、聖霊に清められる必要がある。」

わたしたちは、毎年大きく発展しながら、ただ漠然と主の働きを続けて行けばよいものではありません。神が聖霊の大いなる力のもとに、わたしたちを用いて、働きをすみやかに完結される時は、もうとっくに過ぎ去っています。

**9T 44** 「われわれは、今、非常な熱心さを持たなければならない。」

今は最大の危機です。

七つの災いの時に生き残るのは聖なる品性を持った者だけです。

重大な必要—残りの教会の最大の必要は、教会員、牧師、資金、設備などの増加ではありません。最大の必要は霊に満たされた男女です。

わたしたちは大きな伝道機関を持っています。

わたしたちは世界最大の印刷物を持っています。

わたしたちは世界最大の組織を持っています。

しかし神の働きの完成のためには、聖霊のバプテスマを日ごとに受けねばなりません。

地上歴史のこのクライマックスにおいて、何一つ保留することなく、この大きな挑戦に応じるのはだれでしょうか。

## 第6章 将来の危機



**5T 644** 「…サタンは、もし人々を無関心という氷の中に閉じ込めておくことができないならば、彼らを狂信の炎の中に押し出そうとする。」

**FLB 140** 「自分は清いと主張する人は、ほんとうに清くない。天の書に清いと記されている人は、その事に気づかない。そして彼ら自身の善良さを誇ったりするものではない。」

**SL 7** 「完全なキリスト者の品性を真に求めている者は、自分たちに罪がないという考えは持たない。彼らの生活は非の打ち所がないかもしれない。彼らは、自分たちの信じる真理の生きた代

表者であるかもしれない。・・・しかし彼らが自分たちの心を訓練して、キリストの品性を瞑想すればするほど、ますます彼らは神のみ姿に近づき、その品性のしみのない完全さを認める。そして自分たちの欠陥をさらに深く感じる。」

キ道 86 「イエスに近づけば近づくほど、ますます欠点が多く見えてきます。それは自分の目が開けて明らかになり、イエスの完全さに比べて、自分の不完全さが大きくはっきりと見えるからです。」

### サタンのわな

GW 316 「終末が近づくにつれて、敵は全力をあげて、われわれの中に狂信を持ちこもうとする。」

8T 293 「光の装いをした偽りの説が神の民に提示されるであろう。サタンはできれば選民をも欺こうとするであろう。」

7BC 907 「終末に近づくにつれて、虚偽が真理に混ぜられる。そして、ただ聖霊の導きを受け入れている者だけが真理と誤りを見わけることができるだろう。」

TM 55 「偽りの教師たちが神の働きのために非常な熱心なように思われることだろう。そして、彼らの説を世界と教会の前に提示するため、資金を使うだろう。しかし彼らが真理に誤りを混

## 第6章 将来の危機

ぜるので、彼らのメッセージは欺瞞であって、魂を誤った道に導く。彼らが悪人であるからではないが、彼らが偽りの教師であって、虚偽に真理の印を押そうと努力しているから、われわれはそれに反対しなければならない。」

**TM 61** 「神は地上に教会を持っておられる。それは神の選びの民であり、神の戒めを守る人々である。神は、本筋からそれたところの、この個人、またはあの個人を導いておられるのではなくて、一つの民を導いておられるのである。」

残りの教会の指導者または信徒を批判して、サタンを援助するような誘惑をうけている者は、次の引用分の中にあるホワイト夫人の勧告をよく考えていただきたいと思います。

**6T 42** 「この世界で教会ほど神が愛しておられるものはない。神のために奉仕している者の影響をそこなう行為ほど、神がきらわれるものはない。神は、サタンを助けて批評し、人々を失望におとし入れる働きをするすべての者の責任を問われる。」

**8T 36** 「われわれは非常に熱心でなければならない。われわれには批評非難をしているひまはない。」

**TM 156** 「イエスを愛する人々は、イエスが十字架にかかり、救おうとされた人々を愛する。心に植えられた真理は、イエスの愛とその改変の力を現わす。過酷で陰気で、批評的で横暴なことはすべて、キリストからではなく、サタンから出るものである。」

批評の精神は、危険信号とみなさねばなりません。聖霊がわたしたちをきよめ改変されるとき、私たちの心は、神に対する愛と、兄弟たちに対する愛に満たされます。

残りの教会の大部分がラオデキヤの状態にあることと、その多くの者がふるわれるのは事実ですが、まことの証人であられるキリストの勧告に聞き従う忠実な群れがあります。彼らは後の雨を受ける用意を整え、大いなる叫びをもってメッセージを宣布するのに加わり、生きながら昇天する準備を整えます。

これが残りの教会です。神は他の運動を起こされません。後の雨の時に、忠実な者たちが大いなる力をもってメッセージを伝えます。その時、墮落した教会から大群衆が出て来て、主のためにあかしを立て、ガラスの海の上のあがなわれた人々と共に勝利します。

今こそ後の雨のために準備をする時です。そしてこの準備の働きは、先の雨のもとにおいて起こるものであることを毎日忘れてはなりません。

## 瞑想のための追加引用文



初文 142-144 「それからわたしの目は栄光を離れて、地上の残りの民に向けられた。天使は彼らに言った。『あなたがたは、最後の七つの災害を避けたいと思うだろうか。あなたがたは神を愛し神のために喜んで苦難を忍ぶ者のために、神が備えられたすべてのものを、天国に行って受けたいと思うだろうか。もしそうならば、あなたがたは生きるために死ななければならない。準備しなさい。準備しなさい。準備しなさい。あなたがたは、今までよりもっと準備しなければならない。…すべてを犠牲として神にささげなさい。自分も、財産も、すべてを生きた供え物として、神の祭壇の上にのせなさい。天国に入るた

めには、すべてのものが必要である…。もし苦難によって、天国が得られるとするならば、それはまことに安価なものである。われわれは常に自己を否定し、日毎に自己に死に、イエスだけをあらわすようにし、絶えず彼の栄光を心に留めていなければならない。…天使は『自己を否定しなさい。あなたがたは早く進まなければならない』と言った。」

**TMK 237** 「自分自身を見させて下さいと主に求めよ。…自己は死ななければならない。」

**TMK 291** 「われわれの将来の永遠の幸福は、われわれ人間のすべての力量と能力とを神に従わせて、神の支配下におくことにかかっている。…イエスは、神と人間との間の仲保の働きをするため…また人間がエデンでサタンの誘惑に負けて失った本来の心を回復するために、人間となられた。」

**1SM 98** 「主はわれわれ一人びとりが真に熱心になることを望まれる。」

**9T 44** 「われわれは今、非常な熱心さをもたなければならない。」

**5T 267** 「聖霊の大いなる力が、活力と回復と改変をもたらす力をもって、電流の衝撃のように、萎えた心にくだって、すべての神経に新しい生命を与え、人間全体をその死んだ世俗的

肉の様から健全な靈的狀態に回復するように、神に祈ろう。こうしてわれわれは、世にある欲のために滅びることを免れて、神の性質にあずかるものとなる。そして、われわれの魂の中に彼の姿が反映する。その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。」

CH 138 「セブンスデー・アドベンチストの信者が清められて、その清めを保って行くためには、聖靈を彼らの心と彼らの家庭に持たなければならぬ。今日のイスラエルが神の前に自分たちを低くして、心の宮のすべての汚れを清める時に、神は病人のための彼らの祈りをお聞きになり、病気をいやすための神の治療法の使用を祝福されるという光が主からわたしに与えられた。」

国上 200 「清められた心にとってはすべてのものが変わっているのである。品性の改変が行われたことによって、その人の中にキリストが宿っておられることが、世界に向かって、証拠立てられたのである。神の靈が魂のうちに新しい生命を生じさせて、思いと願いとをキリストのみ心に従わせるのである。そして、内なる人は神のかたちに変えられる。」

7T 33 「使徒たちが行った事はみな、今日のすべての教会員がしなければならない。」

患上 45,46 「また、完全を目指してより高い高みへ達する

ために、日ごとに新たな恵みを求めて祈った。どんなに弱い者でさえも、聖霊の働きにより、神を信じる信仰を表すことによつてきよめられ、洗練され、高尚にされるように、各自に与えられた力を磨くことを学んだ。彼らは謙遜に、聖霊のつくり変える感化力に自分をゆだねたとき、神の徳を豊かに受けて、神に似たものにつくりかえられた。…もしだれでも求めるならば、すべてのものはみ霊に満たされるのである。」

CH 437 「人間が自分の意志を神の意志に従わせる時に、聖霊は彼が働きかけている人々の心に印象をお与えになる。」

ミニ 497 「わたしたちの働きにおいては、神との交わりの実際的結果よりもさらに必要なことはない。わたしたちは救い主による平安と安息を有していることを日常生活の上に表わさなければならない。心のうちにあるキリストの平安は顔に輝き出て、その言葉には人を信じさせる力を与えるものである。神との交わりは品性と生活を高尚にする。そして、初代の弟子たちのように、わたしたちもイエスと共にいることを人々は認めるのである。それは他のどんなものも与えることができない力を働き人に与える。働き人はこの力を失ってはならない。」

### 無限の可能性

希上 311 「キリストを最も多く愛する者は最も多くよいこ

とをする。自我を捨てて、聖霊が心に働かれる余地をつくり、神に全く献身した生涯を送る者の有用さには限りがない。」

ミニ 132 「何も惜しまず、奉仕のために自らをささげる者にはだれでも測り知れぬ結果を生ずる力を与えられる。」

見よ、わたしは戸の外に立って

たたいている

2SM 57 「キリスト者と称える人々の大きな罪は、彼らが聖霊を受けるために心を開かないことである。」

われらの義なるキリスト 146 「あなたが心の戸を開くならば、イエスはその空間を聖霊の賜物で満たされる。そしてあなたは家庭においても教会においても、世界においても生きた説教者となることができる。」

7T 33 「使徒たちが行った事はみな、すべての教会員が今日しなければならぬ。そして罪悪が増加して、悔い改めに対するもっと断固とした呼びかけが必要な時にあたって、われわれは彼らと同様の熱心さをもって働き、彼らと同様に豊かな聖霊の賜物を受けなければならない。…

万物の終わりが近づいているこの時にあたって、教会は初代教会以上の熱心さを持つべきではなからうか。…今日使徒時

後の雨に備えよ

代以上の大きな神の力が現れるべきではないだろうか。」

編集 B・E・ワグナー

